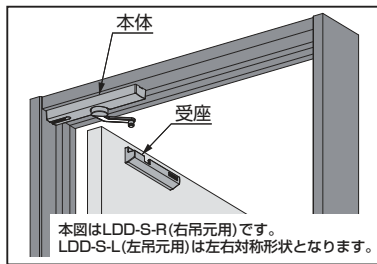


このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。  
 施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。  
 施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。



本製品について

既存のドアに後付け可能な、屋内開き戸用ドアダンパーです。  
 取付位置のあわせが簡単で、施工性に優れています。

正しく安全に施工していただくために

図記号の意味



注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

- 本製品は屋内用です。屋外や水のかかる場所には使用しないでください。
- 併用するヒンジやラッチによっては、動きが悪くなったり、ドアが閉まりきらない場合がありますので、事前にご確認ください。
- 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因となります。
- インパクトドライバーは使用しないでください。故障及び破損の原因となります。
- 本製品は建具を構成するための部品です。施工後に、最終製品としての機能および安全性をご確認ください。また、使用者へ建具を安全に使用するための注意事項を伝えてください。
- ドアを必要以上に強く閉めるなど、無理な開閉はしないでください。故障の原因となります。
- 強風下ではダンパーに過大な負荷がかかりますので、強風下ではドアを手で閉じてください。
- 本製品の使用温度範囲は0℃～40℃です。温度変化によりドアの開閉速度が変化しますが、故障ではありません。

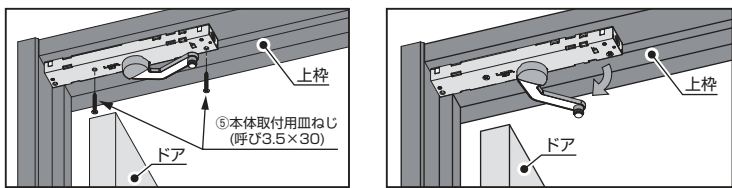
部品一覧 ※図はLDD-S-R(右吊元用)です。LDD-S-L(左吊元用)は左右対称となります。

No.	①	②	③	④
品名	本体*	本体カバー*	受座*	受座カバー*
部品				
個数	1個	1個	1個	1個
No.	⑤	⑥	⑦	⑧
品名	本体取付用皿ねじ (呼び3.5×30)	受座取付用ねじ (呼び4×16)	受座取付テンプレート	取扱説明書 (本書)
部品				-
個数	2本	2本	1枚	1部

取付・調整

1 本体の取付け ドアや枠の建付け調整後に開始してください。

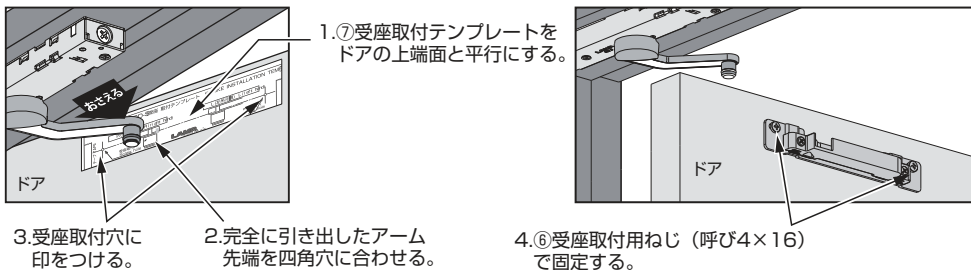
1. 「本体取付位置の確認」欄に従い、本体をねじ止めする。
2. アームを矢印の方向に完全に引き出す。



**重要**  
アームは完全に引き出す。引き出しが不十分な場合、ダンパーが作動しません。

アームが完全に引き出されているのを確認する。

2 受座の取付け 受座取付テンプレートを準備してから開始してください。



3 作動確認

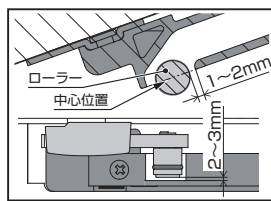
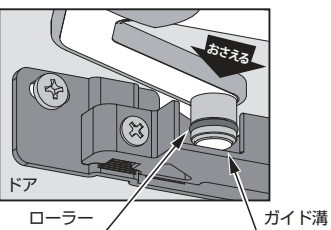
1. アームを完全に引き出したままドアをゆっくりと閉め、アームのローラーが受座のガイド溝に入るかどうか確認する。
2. ローラーとガイド溝のすき間が下記の範囲内かどうかを確認する。

※入らない場合は「2 受座の調整」に進む。

※すき間が範囲外の場合は「2 受座の調整」に進む。

**重要**  
アームは完全に引き出す。引き出しが不十分な場合、ダンパーが作動しません。

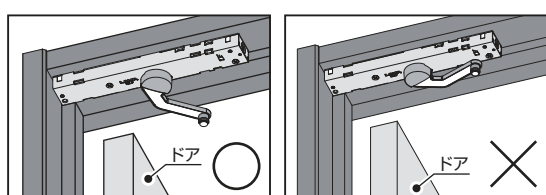
アームが完全に引き出されているのを確認する。



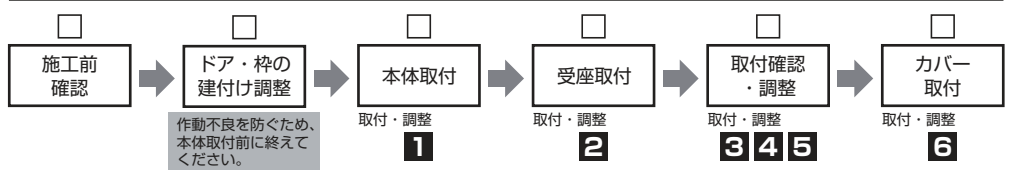
3. ドアをゆっくりと開閉し、正常に作動することを確認する。

※ ドアを開いたときにアームが戻ってしまう場合は「2 受座の調整」に進む。

※ ドアが閉じきらない場合は「3 閉止力の調整」に進む。

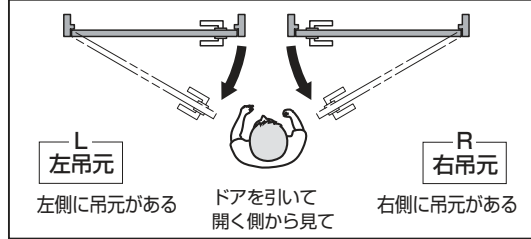


施工手順 作業や確認が完了したら□にチェック✓をつけてください。



施工前確認 ※下記寸法以外の取り付けに関しては、お問い合わせください。

■ ドア吊元方向・使用するダンパーの確認



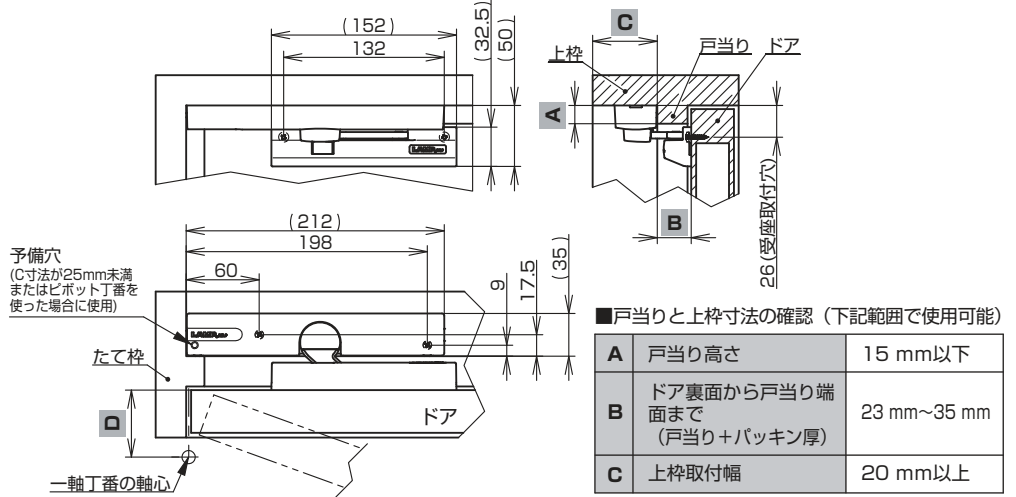
■ 適応ドア仕様

ドア幅	900 mm以下
ドア質量	15 kg~40 kg

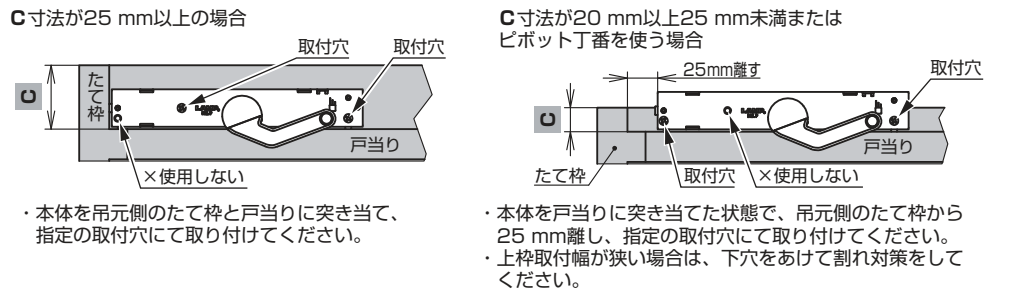
■ 吊元丁番

一軸丁番 (D寸法が60 mm 以下)	
隠し丁番	
ヒボット丁番 (中心吊りのヒボット丁番は使用不可)	

■ 取付図 LDD-S-R (LDD-S-Lは左右対称となります)

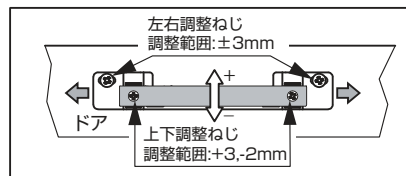


■ 本体取付位置の確認 (上枠取付幅 (C寸法) と使用する丁番により取付位置・取付穴が異なります)



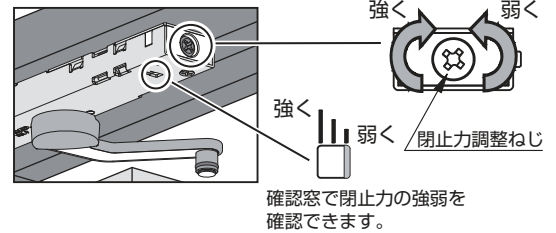
4 受座の調整

- ローラーが受座のガイド溝に入らない場合  
⇒ 上下・左右を調整する。
- ドアを開いたときにアームが戻ってしまう場合  
⇒ 左右調整ねじで受座を吊元方向へ移動する。



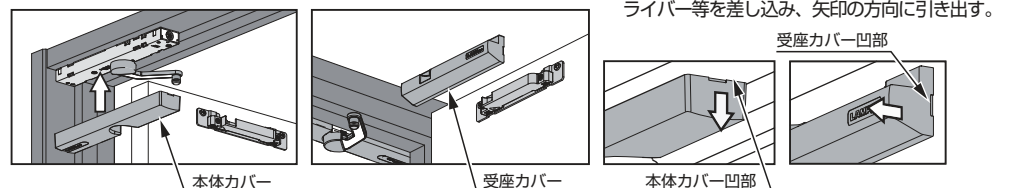
5 閉止力の調整

- ドアが閉じきらない場合  
⇒ 本体の閉止力調整ねじで調整する。  
※ 使用するヒンジやラッチによっては、調整をしてもドアが閉じきらない場合があります。



6 カバーの取付け 調整が済んでから取り付けてください。

1. ドアを開いた状態で、本体カバー、受座カバーを取り付ける。



**注意**  
ドアにキズをつけないよう慎重に作業してください。

こんなときは

症状	原因	対処方法
ドアが閉まらない	受座の位置が適切でない	「3 作動確認」を参照してローラーとガイド溝の位置を確認し、すき間が範囲内になるように受座を調整してください。
ドアが閉じきらない	閉止力が適切でない	「5 閉止力の調整」を参照し、閉止力を調整してください。
ドアを開けたとき本体アームが戻る	受座の位置が適切でない	「3 作動確認」を参照してローラーとガイド溝の位置を確認し、すき間が範囲内になるように受座を調整してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、  
 ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※ 弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業  
 LAMP 扉の機能デザインを創るメーカー

TEL: 03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30  
 E-mail: support@sugatsune.co.jp

2022.01 0494-9